

令和7年11月12日

会員の皆様へ

一般社団法人 宮城県作業療法士会
会長 大内 義隆
司法領域 OT ワーキングチーム（仮称）
香山 明美

宮城県作業療法士会における司法作業療法ワーキングチーム（仮称）準備のための
司法領域における作業療法の現状と今後の方向性 報告会&意見交換会 ご案内

2005年（平成17年）7月、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」（以下、医療観察法）が施行されて以来、指定入院医療機関、指定通院医療機関への勤務の他、社会復帰調整官等として役割を果たす作業療法士が増加してきました。加えて刑事司法領域である刑務所や少年院において、出所予定の方を対象とした社会復帰プログラムを担当する専門職として作業療法士に依頼されることから始まり、この数年で、刑務所における機能向上作業への対応に作業療法士が常勤として雇用されるようになり全国で拡大していく方向性があります。

更に、刑務所や少年院から出所後の更生保護領域においても作業療法士への期待が高まっています。具体的には更生保護施設における生活スキル向上、更生保護就労移行支援事業における就労支援等です。

以上のような流れを受けて、この度宮城県作業療法士会では、司法領域に対応できるワーキングチームを立ち上げることになりました。その立ち上げに先立ち、司法領域における作業療法の現状と今後の方向性に関する報告会と意見交換会を開催致します。この領域に興味関心ある会員の皆様は是非ご参加ください。

そして、是非、ワーキングメンバーとして一緒に活動しましょう。

日 時：2025年12月11日（木）19：00～20：00 （Zoomにて）

申込み：リンクより回答ください

QRコード（右）又は、URL（下）よりお願いいたします

<https://forms.gle/DkJgBrBsEBXzap326>

（※12月8日 19：00を申し込み締め切りといたします）



- 内 容：1. 司法領域の作業療法の現状（10分） 香山 明美 氏（東北文化学園大学）
2. 宮城刑務所における作業療法士の実践（10分） 渡邊 洋紀 氏（宮城刑務所）
3. これからの更生保護領域での取り組み（10分） 香山 明美 氏
4. 意見交換（見学希望やワーキングチーム参加の希望等も含め）（30分）

お問合せ

一般社団法人 宮城県作業療法士会
事務局 淀川 裕美

Mail：h.yodokawa@tmc.ac.jp

（※を@に変換してください）